

7月

甲状腺にこころ

厚生連健康管理センターがわ 保健師

渡邊 由美子さん

甲状腺はのどぼとけの下あたりにある器官で、正面からみると蝶が羽を広げたような形をしています。甲状腺からは甲状腺ホルモンが分泌されています。甲状腺ホルモンには全身の新陳代謝を活発にしたり神経や臓器の働きを調節するなど重要な機能があります。甲状腺の機能に異常がおこる代表的な病気として「バセドウ病」と「橋本病」があります。

「バセドウ病」は甲状腺ホルモンの分泌が過剰になる病気です。全身の新陳代謝が活発になりすぎて、神経が高ぶったり心臓や胃腸などの臓器の働きが過剰になるためにさまざまな症状が現れます。主な症状として「動悸、息切れ」「眼球の突出」「食欲はあるのに体重減少」などがあります。

「橋本病」は甲状腺機能が低下するため新陳代謝が衰え神経や臓器の機能が低下してきます。初期には自覚症状がなく、ゆっくりと進行して「甲状腺ホルモンの分泌が低下した場合」「無気力・疲れやすい」「皮膚の乾燥」「食欲はないのに体重増加」などの症状が現れます。甲状腺ホルモンは多すぎても少なすぎても体調が悪くなってしまうます。

これら甲状腺の病気は体調不良なだけと思いがちな病気とは気づかず放っておく場合も少なくありません。気になる症状のある方は病院を受診してください。また早期に発見して適切な治療を受けるため健康診断などの血液検査で甲状腺ホルモン値を測定してみましよう。